

第6章 アクションプラン一覧

大項目	中項目	小項目	細項目	取り組み内容	実施団体	検討期間 令和4年度(2022年度)	実施期間【前期】				実施期間【後期】		指標	令和3年度	令和8年度目標		
							令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)～令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)～令和14年度(2032年度)						
第5章 実施方針 第1節 保全	1. 共通事項	(1) ガン類の恒久的な生息環境である「ねぐら」と「えさ場」の保全推進	ア	マガンの水田利用状況の把握(ふゆみずたんぼの「ねぐら」利用調査含む)	マガン等の水田利用状況の把握	田んぼ、関係団体	ガン類の水田利用状況調査等										
			イ	ガン類の生態に関する情報提供	化女沼ダム観光資料館、大崎市ウェブサイト	大崎市	実施										
			ウ	生物多様性に配慮した農業規範の検討	生物多様性を向上させる手法等の収集、取りまとめ	大崎市	情報収集、取りまとめ				情報発信、更新						
			エ	ラムサール条約湿地の指定区域の拡大の検討と住民の理解醸成のための取組みの実施	地域住民への聞き取りや勉強会の開催	大崎市	地域住民への聞き取り、勉強会の開催							検討			
			オ	渡り鳥関係自治体等との課題や情報の共有を通じた連携強化	関係自治体等との課題や情報の共有	環境省、宮城県、大崎市、NPO団体	関係自治体等との課題や情報の共有										
		(2) 湿地に生息する生物多様性の保全推進	ア	外来種の防除等の検討及び対策の実施	駆除・防除の対策実施	環境省、大崎市、NPO団体	実施										
			イ	来訪者数の把握の実施	化女沼自由広場についても調査開始	大崎市	方法の検討			実施							
			ウ	動植物モニタリング調査の実施及び結果等の考察	モニタリング調査結果の考察、情報共有	宮城県、大崎市、NPO団体	定期的なモニタリング調査結果の考察、共有										
			エ	生物多様性維持への対応策の検討	調査結果の考察を基にした対応策の検討	環境省、宮城県、大崎市、NPO団体	適宜対応策の検討、実施										
			オ	生物の多様性を育む工法の導入に向けた事例収集と効果検証	圃場等の維持、補修等に向けた工法の事例収集	大崎市、関係団体	適宜事例収集										
		(3) 生物多様性に関する調査の実施	ア	基礎調査の実施	水質調査等の基礎調査の実施	宮城県、大崎市、NPO団体	水質調査等の基礎調査の実施										
			イ	定期的な植生図の作成	蕪栗沼の植生図の作成、モニタリング	大崎市	植生図の作成			ドローンによるモニタリング				植生図の作成			
			ウ	調査結果の共有	関係機関、関係団体の調査結果の共有	環境省、宮城県、大崎市、NPO団体	調査結果の共有										
			エ	動植物モニタリング調査	動植物の定期的な調査の実施	環境省、宮城県、大崎市、NPO団体	動植物モニタリング調査(ライセンスサス等)の実施										
			オ	ゾーニング手法を取り入れた保全及び復元	蕪栗沼の植生、水面、水路等のゾーニング	環境省、宮城県、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ、関係土地改	植生、水面、水路等のゾーニング			ゾーニング案の検討				ゾーニング			
		2. 蕪栗沼・周辺水田	(1) 水面、植生の保全・管理手法の確立	ア	水面、水路の維持と再生方法の検討及び実施	ゾーニングを基にした維持と再生方法の検討	環境省、宮城県、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ、関係土地改	植生、水面、水路等のゾーニング			維持、再生方法の検討				実施		
				イ	水質改善策の検討	白鳥地区の水質調査の実施	宮城県	継続実施									
				ウ	ヨシ刈り等の継続、イベントや他団体、環境教育と連携したヨシ刈りや支障木管理の検討、実施	ヨシ刈り等の継続、連携事業の検討、実施	宮城県、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ	ヨシ刈り等の継続、連携事業の検討、実施									
				エ	野火の実施	野火の検討、実施	大崎市	野火の継続実施									
				オ	関係機関との連携	関係機関との情報共有、事業の連携	関係機関、関係団体	情報共有、連携									
	イ			水質改善方法の検討	水質改善方法の検討	環境省、宮城県、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ、田んぼ、関係土地改良区	水質調査地点の検討							改善方法の検討		対策の実施	
	ウ			ヨシ刈り等の継続、イベントや他団体、環境教育と連携したヨシ刈りや支障木管理の検討、実施	ヨシ刈り等の継続、連携事業の検討、実施	宮城県、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ	ヨシ刈り等の継続、連携事業の検討、実施										
	エ			野火の実施	野火の検討、実施	大崎市	野火の継続実施										
	オ			関係機関との連携	関係機関との情報共有、事業の連携	関係機関、関係団体	情報共有、連携										
	(2) 遊水地機能の維持			ア	水位の管理及び循環	遊水地の水位管理及び白鳥地区の水の循環	宮城県	水位管理、水の循環の継続									
			イ	施設管理	施設管理の継続	宮城県	施設管理の継続										
			ウ	流入河川の定期的な浚渫及び蕪栗沼の浚渫の検討	蕪栗沼遊水地の横断測定の実施	宮城県	横断測定の実施										
			エ	白鳥地区の水の循環	白鳥地区の水の循環の継続	宮城県	水の循環の継続										
			オ	野火の実施	野火の検討、実施	大崎市	野火の継続実施										
	(3) 生物多様性の保全、方法の検討、実施		ア	来訪者数の把握	来訪者数の把握の継続	蕪栗ぬまっこくらぶ	継続実施										
			イ	外来種の防除等の検討	外来種防除等の検討、防除の実施	環境省、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ	外来種防除等の検討、防除の実施			防除等の検討				防除の実施、連携			
			ウ	観察場所の検討及び整備	マガン等への負荷を減らした観察場所の検討、整備	環境省、宮城県、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ	検討							実施に向けた調整		整備等の実施	
			エ	誘導看板等の検討及び設置	誘導看板、案内看板等の設置や整理の検討、実施	環境省、宮城県、大崎市	検討							実施に向けた調整		整備等の実施	
			イ	定期的な植生図の作成	蕪栗沼の植生図の更新	大崎市	ドローンによるモニタリング										
	第5章 実施方針 第2節 活用		3. 活用	(1) 水質改善策の検討	ア	水質改善策の検討	水質改善策の検討	環境省、宮城県、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ、関係土地改良区	水質調査地点の検討								
		イ			水質改善方法の検討	水質改善方法の検討	環境省、宮城県、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ、田んぼ、関係土地改良区	水質調査地点の検討							改善方法の検討		対策の実施
		ウ			ヨシ刈り等の継続、イベントや他団体、環境教育と連携したヨシ刈りや支障木管理の検討、実施	ヨシ刈り等の継続、連携事業の検討、実施	宮城県、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ	ヨシ刈り等の継続、連携事業の検討、実施									
		エ			野火の実施	野火の検討、実施	大崎市	野火の継続実施									
		オ			関係機関との連携	関係機関との情報共有、事業の連携	関係機関、関係団体	情報共有、連携									
		(2) 遊水地機能の維持		ア	水位の管理及び循環	遊水地の水位管理及び白鳥地区の水の循環	宮城県	水位管理、水の循環の継続									
イ				施設管理	施設管理の継続	宮城県	施設管理の継続										
ウ				流入河川の定期的な浚渫及び蕪栗沼の浚渫の検討	蕪栗沼遊水地の横断測定の実施	宮城県	横断測定の実施										
エ				白鳥地区の水の循環	白鳥地区の水の循環の継続	宮城県	水の循環の継続										
オ				野火の実施	野火の検討、実施	大崎市	野火の継続実施										
(3) 生物多様性の保全、方法の検討、実施	ア	来訪者数の把握	来訪者数の把握の継続	蕪栗ぬまっこくらぶ	継続実施												
	イ	外来種の防除等の検討	外来種防除等の検討、防除の実施	環境省、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ	外来種防除等の検討、防除の実施			防除等の検討				防除の実施、連携					
	ウ	観察場所の検討及び整備	マガン等への負荷を減らした観察場所の検討、整備	環境省、宮城県、大崎市、蕪栗ぬまっこくらぶ	検討							実施に向けた調整		整備等の実施			
	エ	誘導看板等の検討及び設置	誘導看板、案内看板等の設置や整理の検討、実施	環境省、宮城県、大崎市	検討							実施に向けた調整		整備等の実施			
	イ	定期的な植生図の作成	蕪栗沼の植生図の更新	大崎市	ドローンによるモニタリング												

大項目	中項目	小項目	細項目	取り組み内容	実施団体	検討期間 令和4年度(2022年度)	実施期間【前期】				実施期間【後期】		指標	令和3年度	令和8年度目標		
							令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)～令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)～令和14年度(2032年度)						
第5章 実施方針 第1節 保全	3. 化女沼	(1) 亜種ヒシクイ等ガン類の「ねぐら」環境の保全	ア	ガン類の飛来状況と利用者の影響についての状況調査の実施	ガン類飛来状況調査と利用者の位置について調査	大崎市	調査実施						亜種ヒシクイ最大羽数	870羽 (過去5年平均)	1,000羽		
			イ	来訪者の利用エリア設定などの対策検討	利用エリア等の検討	大崎市	検討実施・対策の試行	対策の見直し・対策の実施									
		(2) 湿地・里山環境の維持管理・保全	ア	貴重植物の移植とそれに伴う移植先の管理の実施	環境教育ゾーンの管理	大崎市	継続実施							化女沼周遊道路内陸地における湿地里山の維持管理面積	7ha/44ha (大崎市5ha,エコパルル化女沼2ha)	10ha/44ha	
			イ	樹木の維持管理作業の際の植物保護団体との連絡調整	連絡調整の実施	エコパルル化女沼、化女沼2000本校の会	連絡調整										
			ウ	維持管理作業向けの植物観察会の実施	化女沼ボランティア等に向けた観察会の実施	大崎市、エコパルル化女沼	実施										
			エ	刈払いの際などに使うマニュアルの作成	芽吹きて気を付けたい植物の図鑑や刈り払い方法を検討	大崎市、エコパルル化女沼	試行版作成	作成	配布								
			オ	植生の復元に向けた市民参加型制度の構築(植物里親制度)	市民参加の体制や方法の構築	大崎市、エコパルル化女沼	植物種、体制の検討	試行	制度実地								
			カ	オオクチバスやブルーギル、アメリカザリガニ等の防除方法及び防除後の在来生態系の復元戦略の共有	在来生態系の復元戦略の共有	大崎市	復元戦略の共有										
			キ	発芽実験の実施(埋土種子等)	見られなくなった水生植物の復元を目指す	大崎市、エコパルル化女沼	発芽試験										
			ク	市民向け普及啓発パンフレットの作成	パンフレットによる普及啓発	大崎市	継続配布			情報見直し作成配布							
		(3) 特定外来生物の防除	ア	化女沼の特性を活用したオオクチバスやブルーギル等の防除	駆除・防除の実施	大崎市	防除事業実施				外来魚が低密度化外来魚の生息モニタリング実施	外来魚のモニタリング実施		外来魚率	94% (3年平均)	86%	
			イ	化女沼の在来魚の復元に向けた取り組み	1 上流ため池の魚類生息状況調査の実施 2 上流部ため池の池干しによるオオクチバス等防除(適宜)	大崎市	目視調査 防除の実施	生息状況調査 外来魚生息調査				在来魚の保護増殖					
			ウ	釣り人と渡り鳥の飛来数との因果関係調査及び対応策の実施	ガン類飛来状況調査と利用者の位置について調査	大崎市	検討実施・対策の試行	対策の見直し・対策の実施									
			エ	ゾーニングに基づく植生の保全・復元の実施	ゾーニングの見直し	大崎市	ゾーニング見直しに関する検討		再ゾーニング								
		(4) 植生の復元	ア	優先順位を決めるゾーニングの見直し	ゾーニングの見直し	大崎市	継続実施						在来水草類の復元面積	移植用苗の育成中	150㎡		
			イ	水生植物等の復元の実施及びハスやヒシの管理	水生植物復元の実施	大崎市	継続実施			環境教育ゾーンでの実施	沼本体での実施						
			エ	浅瀬や移行帯(エコトーン)の復元方法の検討	水生植物や二枚貝等の復元検討	大崎市、大崎地方ダム総合事務所	協議検討	協議・検討									
			オ	ヨシ原の復元方法の検討	湿地帯植生の復元方法検討	大崎市、大崎地方ダム総合事務所	協議検討	協議・検討									
			カ	世界農業遺産や他の資源と連携したツアーのガイド確保及び育成	世界農業遺産や他の資源と連携したツアーのガイド確保及び育成	大崎市、NPO団体、関係団体	研修会等の実施										
			キ	ツアープログラムの検討、世界農業遺産資源や鳴子温泉、農泊と連携した実施	ツアープログラムの検討、世界農業遺産資源や鳴子温泉、農泊と連携した実施	大崎市、みやぎ大崎観光公社、グリーン・ツーリズム団体、NPO団体	検討、実施										
		実施方針 第2節 活用	1. 共通事項	(1) 持続可能なツーリズムの推進	ア	ツアーガイドの確保及び育成の推進	世界農業遺産や他の資源と連携したツアーのガイド確保及び育成	大崎市、NPO団体、関係団体	研修会等の実施					来訪者数(両湿地合計)	22,000人/年 (過去5年間平均)	28,000人/年	
					イ	ツアープログラム(サステナブルツーリズム等)の検討と商品開発の推進	ツアープログラムの検討、世界農業遺産資源や鳴子温泉、農泊と連携した実施	大崎市、みやぎ大崎観光公社、グリーン・ツーリズム団体、NPO団体	検討、実施								
					ウ	エコツーリズムのルール検討	持続可能なツーリズムとするためのルールの検討	大崎市、みやぎ大崎観光公社、グリーン・ツーリズム団体、NPO団体	ルールの検討		ルールの周知						
					エ	近隣の条約湿地を構成する関係団体(自治体、NPO法人、企業等)との連携	県内の他の条約湿地と連携したツアーの検討	大崎市、みやぎ大崎観光公社、NPO団体、近隣関係自治体・団体	連携の検討		連携の推進						
(2) 市民の「憩いの場」の提供	ア			市民の憩いの場として活用方法の検討	自然観察や他の活用方法の検討	大崎市、関係団体	活用方法の検討			活用方針の検討	活用の推進		ガイド人数	5人	7人		
	イ			食害状況の把握及び対策、支援の検討	適宜情報収集、支援の検討	大崎市、NPO団体	適宜情報収集、支援の検討										
(3) 農業との共生	ア			生物の多様性を育む営農技術の普及と拡大	研修会等の開催	大崎市、JA、田んぼ	研修会等の開催						環境学習利用人数	178人	360人		
	イ			食害状況の把握及び対策、支援の検討	適宜情報収集、支援の検討	大崎市、NPO団体	適宜情報収集、支援の検討										
	ウ			補償対象地域との情報共有・調整の実施	適宜情報共有、調整の実施	大崎市	適宜情報共有、調整の実施										
(4) 世界農業遺産ブランドの普及促進	ア			世界農業遺産ブランド認証制度の普及促進	認証制度の普及促進	大崎市	普及促進										
(5) 自然観察ガイドの養成	ア			世界農業遺産「語り部」と連携した自然観察ガイドの確保及び養成	ラムサール条約湿地の自然観察や他の地域資源のガイドの確保及び養成	大崎市、NPO団体、関係団体	研修会等の実施										
(6) 環境学習への活動フィールドとしての推進	ア			環境学習フィールドの整備の検討	両湿地の環境教育ゾーン等を中心とした環境学習フィールドの整備、拡充、復元	大崎市、NPO団体	環境学習フィールドの整備、拡充、復元	方針検討			整備、復元	維持管理					

大項目	中項目	小項目	細項目	取り組み内容	実施団体	検討期間	実施期間【前期】					実施期間【後期】		指標	令和3年度	令和8年度目標		
							令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)~令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)~令和14年度(2032年度)						
2. 蕪栗沼・周辺水田		(1) 資源の活用方法の検討, 実施	ア	ヨシのベレット化の実施	ヨシのベレット化等の活用方法の検討, 実施	蕪栗ぬまっこくらぶ	検討と試行						実施	ふゆみずたんぼ実施面積	10ha	13ha		
			イ	支障木の利用検討	支障木の利用検討	大崎市, 蕪栗ぬまっこくらぶ, 田んぼ	検討		実施									
		(2) 地域ブランドの育成	ア	「ふゆみずたんぼ」など地域ブランドの推進及び発信	「ふゆみずたんぼ」の情報発信	大崎市, ふゆみずたんぼ生産組合	世界農業遺産と連動した情報発信											
			イ	グリーン・ツーリズム関係団体との連携	グリーン・ツーリズム関係団体と連携したプログラム, 農泊の推進	大崎市, 関係団体	農業体験, 農泊との連携推進											
		(3) 持続可能なツーリズムの推進	ア	ツアープログラム(サステナブルツーリズム等)の検討と商品開発の推進	ツアープログラムの検討, 世界農業遺産資源や農泊と連携した実施	大崎市, みやぎ大崎観光公社, 蕪栗ぬまっこくらぶ, 田んぼ, 関係団体	検討, 実施											
			イ	グリーン・ツーリズム関係団体との連携	グリーン・ツーリズム関係団体と連携したプログラム, 農泊の推進	大崎市, 関係団体	農業体験, 農泊との連携推進											
実施方針第2節 活用	3. 化女沼	(1) ラムサール・トライアングルの玄関口としての機能強化	ア	長者原サービスエリアとの連携推進	良好なアクセス環境を活用するため, 連携を図る	大崎市, ネクスコ東日本	検討	実施										
			イ	化女沼ダム観光資料館の情報発信機能の強化	化女沼自然情報の拠点施設としての情報発信機能強化	大崎市, エコバル化女沼	検討, 実施											
		(2) 環境教育ゾーンの活用	ア	環境教育ゾーンの活用推進	市民への普及啓発機会の増進	大崎市, エコバル化女沼	実施											
		(3) ラムサール条約湿地の面積拡大について	ア	ラムサール条約湿地の指定区域の拡大の検討と住民の理解醸成のための取組みの実施	住民理解醸成のための取組実施	大崎市	地域住民への聞き取り, 勉強会の開催					方針について検討						
実施方針第3節 CEPA	1. 共通事項	(1) 環境学習を主体とした次世代育成の推進	ア	おおさき生きものクラブの継続	NPOと連携し, 環境学習プログラムを実施し, 次世代育成を推進	大崎市	継続実施											
			イ	世界農業遺産地域(大崎市, 色麻町, 加美町, 涌谷町, 美里町)と連携した取組み拡大検討	4町と協議	大崎市	4町と協議	随時開催										
			ウ	毎年2月2日の「世界湿地の日(ワールド・ウェットランド・デイ WWD)」を活かした取組実施の検討	世界湿地の日を活かした取組実施の検討	環境省, 宮城県, 大崎市, NPO団体	情報発信, 取組の検討											
		(2) 地域間交流と協働	ア	大学, 研究機関, NPO, 企業, 関係行政との連携	研究機関, 関係自治体・団体と連携した情報収集, 研究, 発信	大崎市, 関係行政, 大学, 研究機関, NPO団体	情報収集, 研究フィールドの提供											
			イ	仙台広域圏ESD・RCE運営委員会との連携	ESD等に取組み地域, 団体との連携, 交流	大崎市, 関係団体	仙台広域圏ESD・RCE運営委員会等との連携, 交流											
			ウ	市町村レベルの交流, 情報発信の実施	県内, 国内のラムサール条約湿地を有する自治体の交流, 情報発信	大崎市, 関係自治体	関係自治体との交流, 情報発信											
			エ	団体レベルの交流実施の検討	ラムサール条約湿地の保全, 活用に係る団体等の交流の推進	大崎市, 関係団体	情報共有, 交流の推進											
			オ	環境保全参加型イベントの開催	保全に資する参加型イベントの検討, 開催	大崎市, NPO団体, 関係団体	環境保全参加型イベントの検討	イベントの開催										
			カ	フォーラムや交流型イベントの開催	記念イベント等定期的なイベントの開催	大崎市, 関係行政, 関係団体	記念イベント等の開催					「蕪栗沼・周辺水田」登録20周年	「化女沼」登録20周年					
		(3) 東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップを活用した情報交換の推進	ア	本枠組みを活用した調査結果の共有を継続	他地域のガン類飛来数について情報共有	大崎市	継続実施											
			(4) 環境教育プログラム及び教材開発の推進	ア	環境教育の体制づくり	おおさき生きものクラブの継続	大崎市, NPO団体	継続実施										
		イ		講師, 教材の整備, 支援の検討実施	検討実施	大崎市, NPO団体	検討実施											
		ウ		学習プログラムの更新	生きものクラブプログラム集の更新	大崎市, NPO団体	改訂版の検討						生きものクラブプログラム集の改定	改定検討				
		エ		活動フィールドの拡充	世界農業遺産地域(加美町, 涌谷町, 色麻町, 美里町)と連携した取組み拡大	大崎市, NPO団体	拡充について4町等に打診	随時開催										

大項目	中項目	小項目	細項目	取り組み内容	実施団体	検討期間 令和4年度(2022年度)	実施期間【前期】				実施期間【後期】				指標	令和3年度	令和8年度目標
							令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)~令和10年度(2028年度)	令和11年度(2029年度)~令和14年度(2032年度)						
			オ ウィズコロナに対応した他地域との交流学习活動について検討	オンライン交流の手法について検討	大崎市	オンライン交流の手法について検討	生きものクラブ10周年記念 オンライン交流会										
		(5) 保全経費の検討	ア 環境基金及び他の制度との連携の検討	制度について検討	大崎市	検討							方針の決定	方針の実施			
2. 燕栗沼・周辺水田	(1) 情報発信体制の確立	ア	積極的な情報発信	情報発信施設やライブカメラ等を活用した情報発信の推進	大崎市	ライブカメラ等による情報発信の継続									ライブカメラWEBサイトアクセス数	3,000件/年 (過去2年平均)	4,000件/年
			イ 関係機関との連携	関係機関、団体や企業等と連携した情報発信の推進	大崎市, 関係団体	情報の共有, 発信											
			ウ 情報発信の拠点づくり	新たな情報発信拠点の検討	大崎市, 関係機関, 関係団体	情報発信拠点の検討				拠点の追加				適宜追加			
		ア	都市と農村の交流へのプログラムの提供	農産物やマガンなどの資源を活かした教育旅行等, 都市と農村の交流を推進	大崎市, JA新みやぎ, ふゆみずたんぼ生産組合, 燕栗ぬまっこくらぶ, 田んぼ, たじり種波公社, みやぎ大崎観光公社	交流の推進, プログラムの実施											
			イ 産地と生活協同組合等, 消費者団体との連携	生活協同組合等との産地と消費者の交流事業の推進, 安全, 安心な農産物の生産	大崎市, JA新みやぎ, 関係団体	産地と消費者の交流会の推進											
		ア	観察ルールの見直し	観察者のマガン等の動植物への負担の状況により適宜観察ルールの検討を実施	大崎市, 関係機関・団体	状況に応じた観察ルールの見直し											
イ ルールの周知	ルール等の周知により, 動植物への負担の低減を図る		大崎市, 関係機関・団体	ルールの周知													
3. 化女沼	(1) 市民参加型保全活動の拡充	ア ボランティアの拡充と自然環境に関する学びの機会の提供	化女沼の自然環境に愛着を持つ市民を増やす	大崎市, エコバル化女沼	検討, 実施									化女沼ボランティア登録人数	20名	30名	
		イ 植生復元に向けた「植物里親プロジェクト(仮称)」の実施	市民参加型の自然再生の実施	エコバル化女沼	植物種, 手法について検討	試行実施	実施										
	ア 生物多様性や環境教育ゾーンを活用したプログラムや教材の開発	プログラム集の作成	大崎市, エコバル化女沼	検討	改訂版の配布												